



個人投資家向け会社説明会資料

2023年3月18日(土)

天馬株式会社

東証プライム 証券コード：7958

ご自宅や職場で見かけた事はありませんか？

This tasteful ornament can be of use
at home anywhere, anytime.
Fits Basic Color
Coordinate
Case Series®

=

TENMA
Happy life with TENMA



フィッツシリーズは37周年 累計販売数1億個突破!

生活にフィットする収納用品として、住環境の変化に合わせ、時代とともに進化を積み重ねてまいりました。
これからも収納用品のリーディングメーカーとして、お客様に「Happy Life」をお届けします。



フィッツユニット



フィッツプラス



フィッツプラス デコ





本日の内容

- 1 天馬について
- 2 業績予想
- 3 中期経営計画（2021年5月策定）
- 4 株主還元

- 1 天馬について
- 2 業績予想
- 3 中期経営計画（2021年5月策定）
- 4 株主還元

2022年3月31日現在

会 社 名	天馬株式会社 (TENMA CORPORATION)
業 種	プラスチック製品の製造及び販売
設 立	1949年8月26日
本 社	東京都北区赤羽一丁目63番6号
資 本 金	192億円
代 表 者	代表取締役社長 廣野 裕彦
従 業 員 数	連結：7,817名 単体：648名
売 上 高	連結：826億円 単体205億円
株 式	東京証券取引所プライム市場 証券コード：7958

《社是》

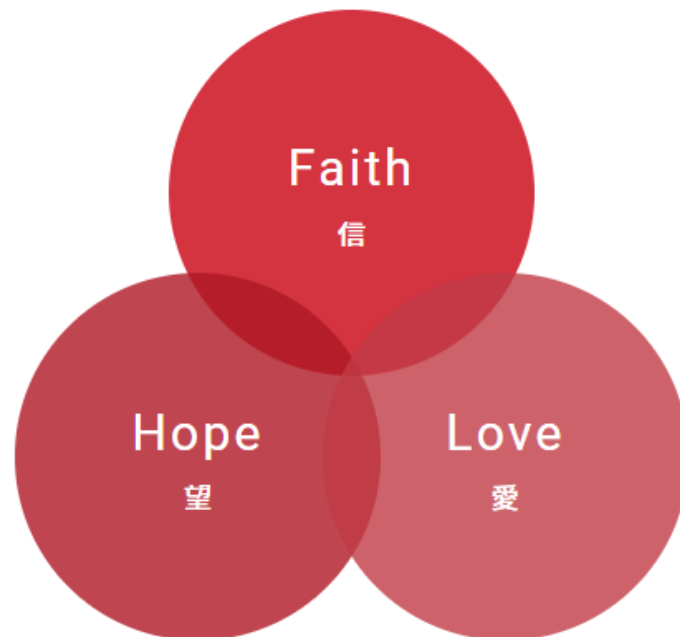
～信・望・愛～

《経営理念》

製品を造り、販売することを通じて

『感動と喜びを分かち合う。』

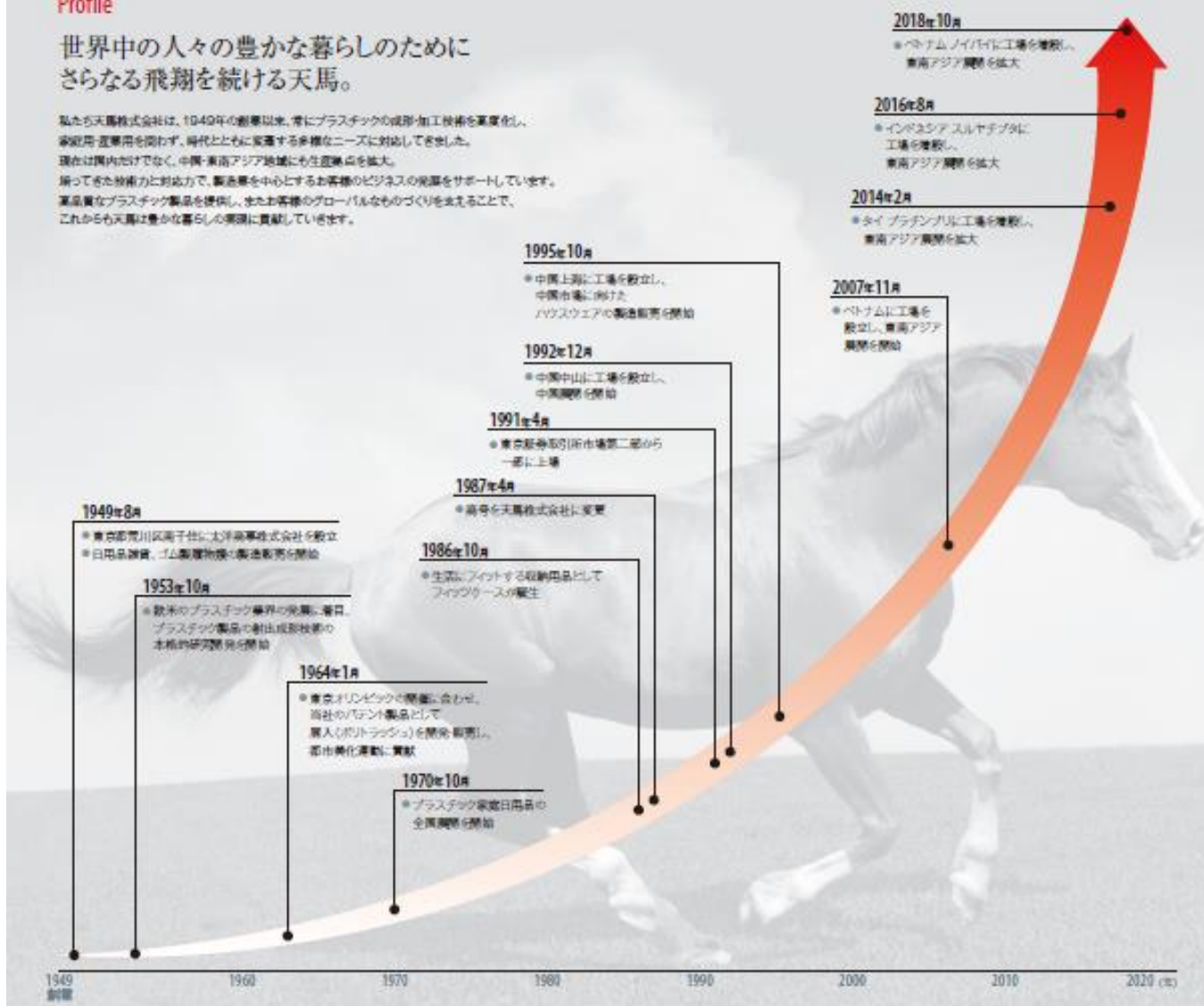
“Happy life with TENMA”



Profile

世界中の人々の豊かな暮らしのために
さらなる飛翔を続ける天馬。

私たちが天馬株式会社は、1949年の創業以来、常にプラスチックの成形加工技術を革業化し、家庭用・産業用を問わず、時代とともに変遷する多様なニーズに対応してきました。現在は国内だけでなく、中国・東南アジア地域にも生産拠点を拡大。培ってきた技術力と対応力で、製造業を中心とするお客様のビジネスの発展をサポートしています。革業的なプラスチック製品を提供し、またお客様のグローバルなものづくりを支えることで、これからも天馬は豊かな暮らしの発展に貢献していきます。



生産拠点は国内6工場、海外4カ国/11工場

1,000台以上の成形機を有し、国内外で幅広い製品の生産に対応可能

【海外】



(PT_TENMAINDONESIA TRADING)

©2023 TENMA CORPORATION

【国内】



プラスチック成形加工メーカー

自社製品事業(ハウスウエア)



受託製品事業

- 家庭用品
 - ・収納ケース
 - ・キッチン用品
 - ・サニタリー など

両輪とする希少な存在

- OA機器部品
- 家電機器部品
- 車両部品
- メディアケース など

カテゴリトップの
コンシューマーブランド企業

アジアの成長市場において
グローバル企業を顧客とする受託製造会社

Fits累計販売数：1億個超

年平均成長率：3.9% (過去10年度)



取扱い製品例（自社製品事業）

収納用品



取扱い製品例（自社製品事業）

PORISH 洗濯用品



FAVIE キッチン・サニタリー



KURETO お弁当箱
Let's use this today



LILICY マグボトル



展示会への出展風景（自社製品事業）

【2022DIYショー】
(8/25~8/27)



【2022ギフトショー】
(9/7~9/9)



【ガーデンEXPO2022】
(10/12~10/14)



バイオマスプラスチック試作品

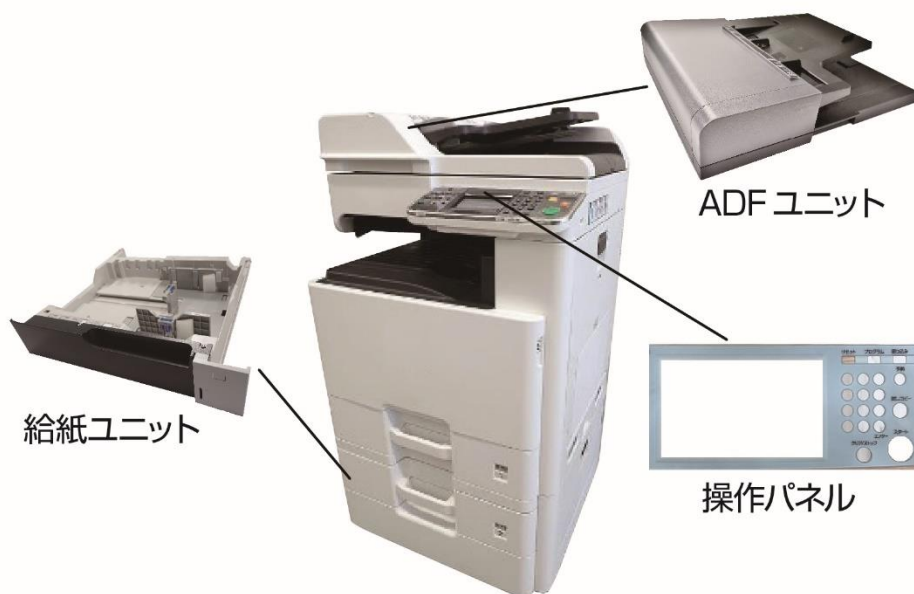
展示会への出展風景（自社製品事業）

【2023 インスパイアドホームショー】（3/4～3/7）



取扱い製品例（受託製品事業）

OA 機器部品



家電機器部品



車両部品



取扱い製品例（受託製品事業）

産業用資材



ビールコンテナ



ビールピッチャー



飲料用ダストボックス

住設備品



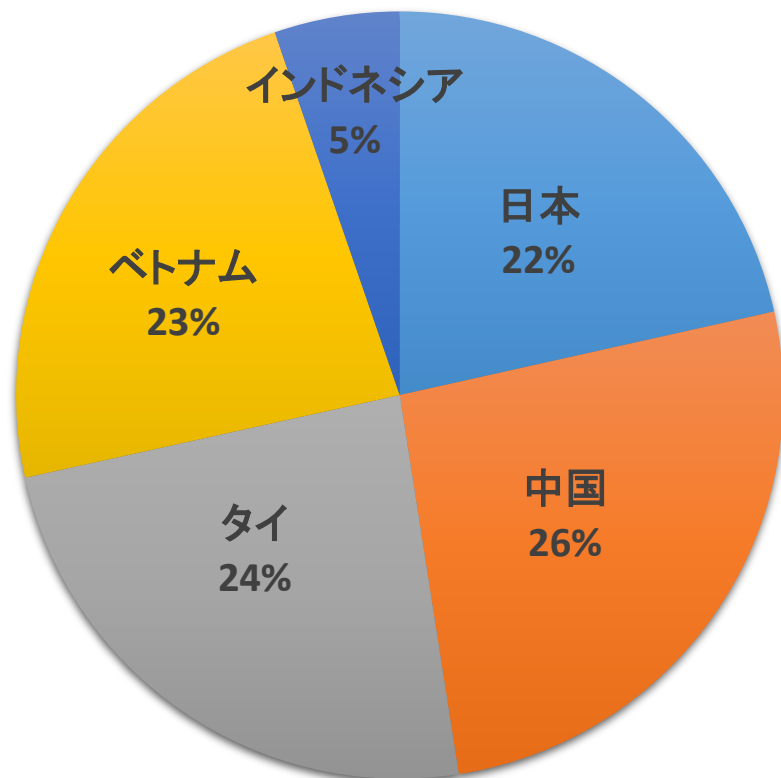
メディアケース



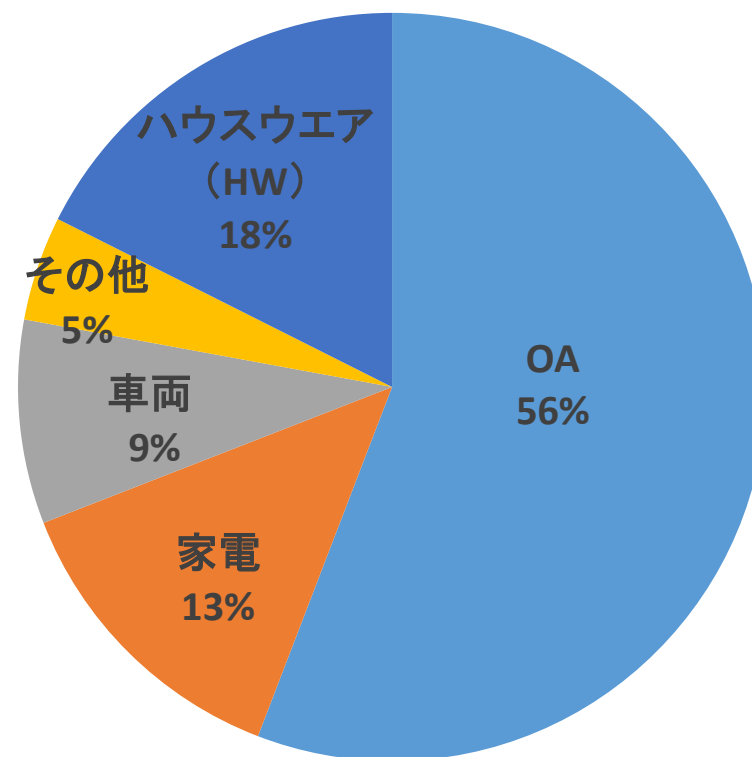
- 自社製品で培った開発力と受託製品で培った技術力で高付加価値を提供。
- 国内外を問わず、統一された技術基準のもとで高品質の製品を製造。
- アジアの4カ国/11工場にて取引先のグローバルサプライチェーンを支える。

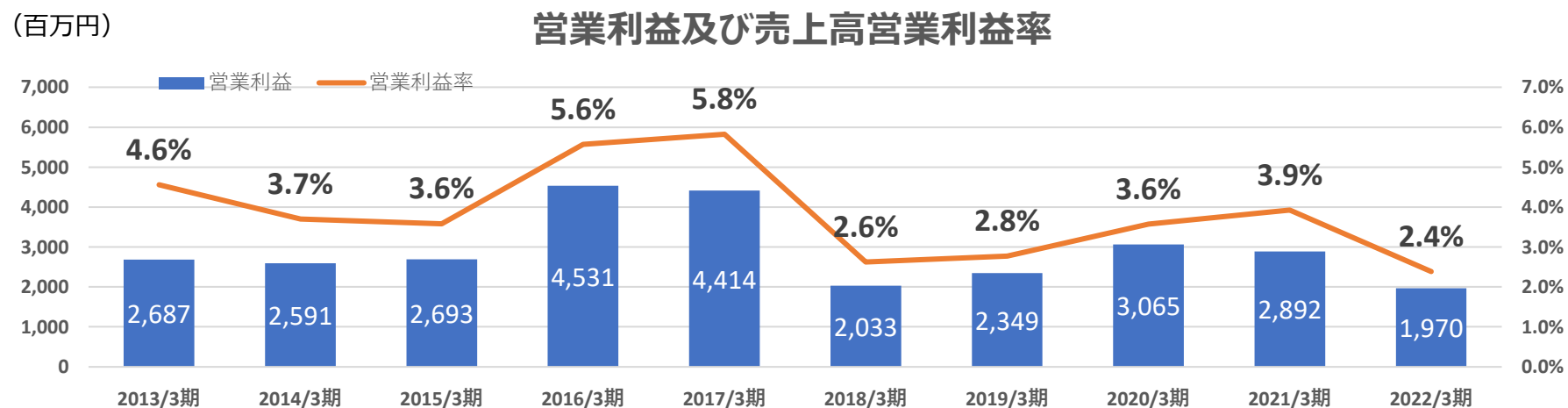
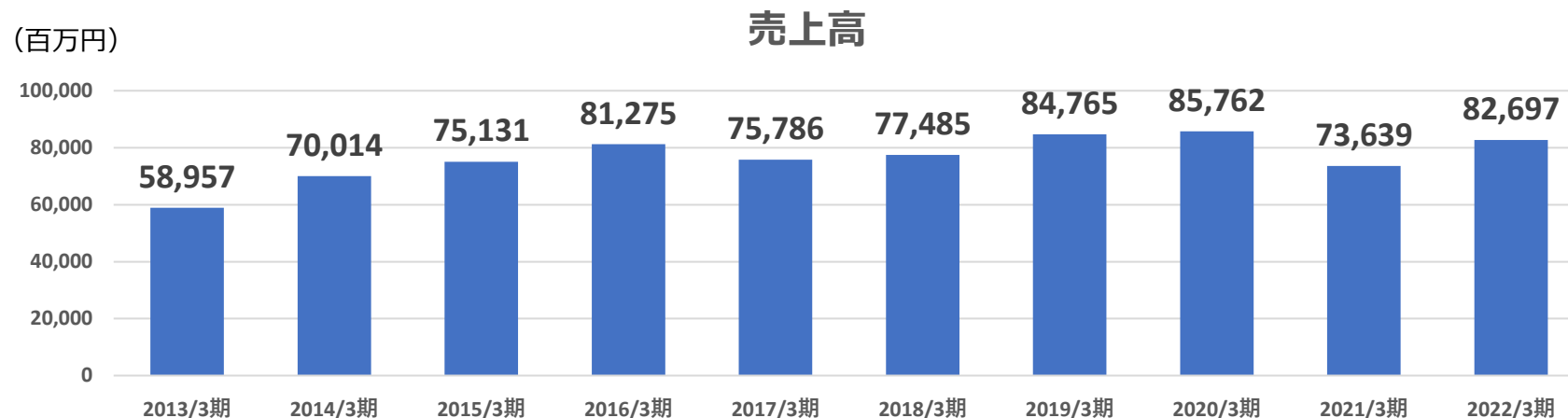
売上構成（2022年3月期）

【地域別】



【部門別】





- 1 天馬について
- 2 業績予想
- 3 中期経営計画（2021年5月策定）
- 4 株主還元

2023年3月期業績予想

(百万円)

	2021/3期 (実績)	2022/3期 (実績)	2023/3期 (予想)	前期比
売上高	73,639	82,697	102,000	123.3%
営業利益	2,892	1,970	3,100	157.4%
経常利益	2,919	2,430	3,900	160.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,006	1,058	3,100	293.0%

注) 2023/3期予想は2023年2月10日付発表の数値を採用。
2022/3期以降は収益認識基準適用後、2021/3期は従来基準の数値を採用。

業績予想に関する補足説明

○最新の業績予想を反映し、2023年2月10日付で修正予想を開示。

(売上高+20億円 営業利益+6億円 経常利益+14億円 親会社株主に帰属する当期純利益+12億円)

【地域別】

○日本は売上の約7割が自社製品事業。耐久消費財における消費回復の動きが鈍く、売上・利益ともに苦戦。

○中国は売上の9割以上が受託製品事業。上海ロックダウンの影響があったものの、受託製品事業の取引先の生産活動が復調し、売上・利益ともに増加見込み。

○東南アジアは売上のほぼ全額が受託製品事業。電子部品などの供給不足が緩和され、挽回生産に転じた取引先も多く、売上・利益ともに増加見込み。

【部門別】

○ハウスウェアは日本では消費回復の遅れ、中国ではロックダウンの影響で苦戦。

○OAは中国・タイ・ベトナムにて生産回復の動きあり、大幅に売上増加見込み。

○家電はエアコンを主体にタイで増加見込み。

○車両は2輪車がベトナムで増加見込み。

- 1 天馬について
- 2 業績予想
- 3 中期経営計画（2021年5月策定）
- 4 株主還元

百年企業への道を歩む！

2049年に創業100周年を迎える。天馬グループは、「百年企業」を目指して、10年後・20年後の長期の目線から、あるべき姿や、そこに至るまでの歩み方を再検討し、新たな歩みをスタート

「目指す姿」達成に向けた“変革期間”



第3次
中期経営計画

2022年3月期～2024年3月期

第4次

第5次

【目指す姿】

長期ビジョン

「人とプラスチックの調和した豊かな社会」の実現を目指す

長期目標

(2031年3月期目標数値)

売上高 1,100億円	営業利益 90億円
ROE 9%以上	ROIC 9%以上

長期ビジョン

人とプラスチックの調和した豊かな社会

基本方針 1

サステナブル経営の推進

基本方針 2

成長基盤の構築

戦略 ① 人財への取り組み

戦略 ② 環境問題への取り組み

戦略 ③ ガバナンス強化

【基本方針 1】
サステナブル経営の推進

戦略 ④ DXと自動化の推進

戦略 ⑤ 技術開発の推進

戦略 ⑥ ビジネス領域の拡張

【基本方針 2】
成長基盤の構築

戦略① 人財への取り組み

- 約2年の準備期間を経て、今春より新人事制度及び関連制度を導入
- 休暇制度を拡充、環境改善の各種規程を改定

戦略② 環境問題への取り組み

- 再生プラスチックを活用した製品を昨年9月より販売開始
- バイオプラスチック等を活用した製品を展示会に参考出展

戦略③ ガバナンス強化

- 外部評価機関を用いた取締役会の実効性評価を実施
- コンプライアンスに関するトップメッセージ発信等、継続的に意識強化に取組み

戦略 ④ DXと自動化の推進

- 業務プロセス標準化に向けた土台作りを推進
- 通信インフラを順次整備、基幹システムのクラウド化を昨年12月に実施
- 全工場で汎用性のある自動化を推進

戦略 ⑤ 技術開発の推進

- 加飾成形や多色多素材成形の確立に向けた設備導入計画が着実に進行
- 自社の要素技術確立に向けた設備投資及び各種トライアル等を実施

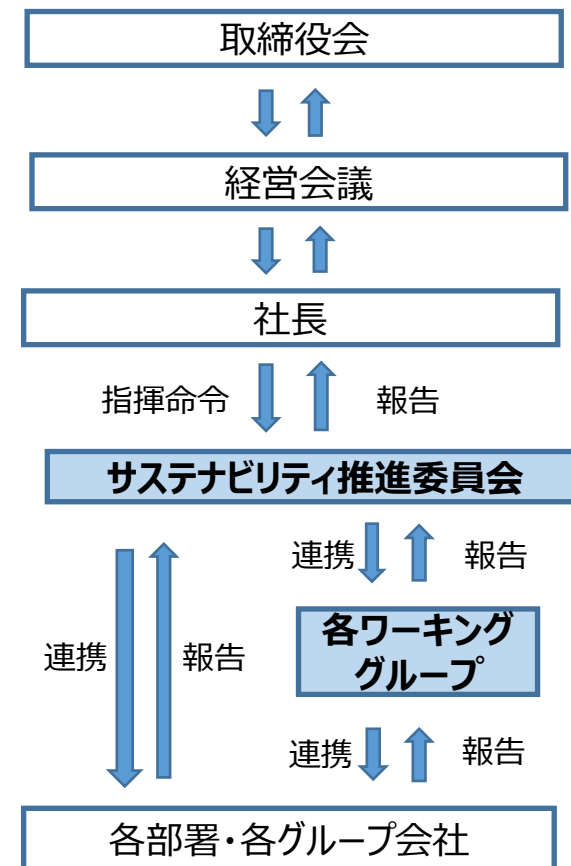
戦略 ⑥ ビジネス領域の拡張

- 関連会社と協業し、2つのソリューション事業を展開
- マグボトル・ランチボックス等、新領域での戦略的商材を昨春より順次販売開始

基本方針 1 サステナブル経営について

【推進体制】

サステナビリティに関する事項は、サステナビリティ推進委員会（原則年4回開催）で議論し、その内容およびサステナビリティ活動状況については、必要に応じ取締役会に報告する体制を確立。



【サステナビリティ基本方針および関連方針の策定】

持続可能な社会の実現と、当社グループの持続的な企業価値向上の両立を図り、グループ全体で戦略的にサステナビリティ活動を推進するために、サステナビリティ基本方針および関連方針を策定し、当社ホームページのサステナビリティページで公開。

基本方針 1 サステナブル経営について

	マテリアリティ（重要課題）	<ul style="list-style-type: none"> ● 耐久性の高い製品 ● 廃棄材料削減 <ul style="list-style-type: none"> ● 再生プラスチックの製品化 ● 設備・資材を大切に する社風の継続 <p>リサイクル材商品「樹脂と暮らしシリーズ」</p> <p>「使い捨てられる樹脂」が環境に悪影響を与えると言われるなか、「樹脂が永く暮らしに寄り添い続けること」をコンセプトとして発信しています。 「使い捨てられる樹脂」を少しでも削減し、地球資源の循環化に努めて行きます。</p> <p>再生ポリプロピレン配合</p> <p>earth gray (アースグレー) earth green (アースグリーン) earth blue (アースブルー)</p> <p>BASKET (M)</p> <p>DUST BOX (35L)</p> <p>TRUNK BOX (M)</p>
<p>E Environment</p>	気候変動の緩和と適応	
	サーキュラーエコノミーの実現	
<p>S Social</p>	製品の安全・安心	
	持続可能な調達	
	多様な人財の活躍	
<p>G Governance</p>	安全・安心な職場	
	強固な企業基盤	
<p>V Value</p>	新しい価値創造	

事業戦略（全体像）

		地域別の区分			
		日本	中国	東南アジア	
事業領域別の区分	受託製品事業	OA事業	→	→	◎
		家電事業	→	◎	◎
		車両事業	→	—	◎
	自社製品事業	ハウスウエア事業	○	◎	☆
	新規事業	●医療 ●物通資材 ●環境 ほか	☆	—	—

- ◎ : 注力
- : 高シェア維持
- ☆ : 新規立ち上げ
- : 現状維持
- : 対象外

事業領域別の戦略

地域別の戦略

事業戦略の具体的事例

- 2022年1月 天馬タイにて倉庫棟の増設が完了、その後、自動倉庫を導入
(東南アジアでのOA事業・家電事業：◎)
- 2022年2月 天馬インドネシアにてハウスウエア製品の生産開始
同年9月にはECサイトも立上げ
(東南アジアでのハウスウエア事業：☆)
- 2022年8月 JEJアステージ様と業務提携に向けた検討を開始する合意書を締結、
本年3月には業務提携契約を締結
(日本でのハウスウエア事業：○)
- 2023年2月 ヘルステック事業の一環として「MiteCare(ミテケア)」の販売開始
(日本での新規事業：☆)
- 2023年3月 天馬ベトナムでの新工場建設計画発表
(東南アジアでのOA事業・家電事業：◎)
- 2023年3月 インドネシアの金型メーカーであるHyuk Jin Indonesia様の全株式を取得
する株式譲渡契約を締結
(東南アジアでの受託製品事業：◎、同ハウスウエア事業：☆、新規事業：☆)

投資戦略

3か年投資総額
180億円

- ▶ 基盤構築：108億円
- ▶ 収益力強化：50億円
- ▶ 事業拡大：22億円

- * 収益力強化投資と事業拡大投資は、案件ごとに投資リスクと収益率を精査
- * 新規投資においては、資本コストを意識し、ROIC向上を念頭に置きながら、規律ある投資判断を行う

資本政策

企業価値向上に向けた取り組みとして、資本政策を通じた株主還元を継続的に実施する

配当政策 ▶ 株主資本配当率（DOE）
2.5%以上

自己株式取得 ▶

- ・長期的に、総額100億円規模の自己株式取得を進め、株主還元に努める

(百万円)

	2022/3期		2023/3期		2024/3期
	計画	実績	計画	予想	計画
売上高 (百万円)	81,000	82,697	84,500	102,000	87,000
営業利益 (百万円)	3,400	1,970	3,800	3,100	4,200
営業利益率 (%)	4.2	2.4	4.5	2.5	4.8

注) 2024年3月の計画は見直しておらず、本年5月頃に予想値を公表予定

ポイント

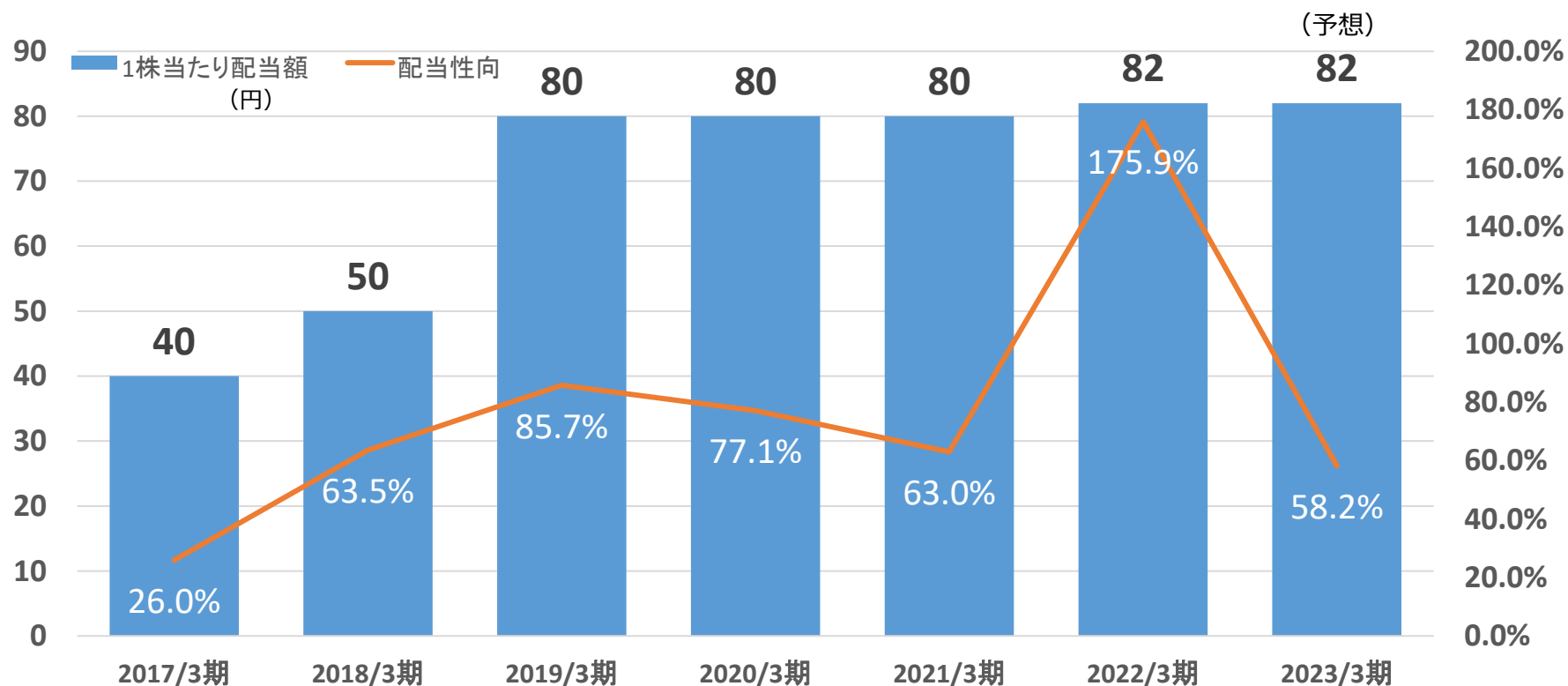
- 2021年5月の計画策定時と比較し、原材料価格高騰及び円安で推移。受託製品事業において、取引先の生産活動の復調や円安による海外売上の円換算金額増加もあり、売上は2期連続で計画を過達見込み。
- 自社製品事業における原材料価格高騰、またコロナ禍での生産効率悪化等もあり、営業利益は2期連続で未達。

- 1 天馬について
- 2 業績予想
- 3 中期経営計画（2021年5月策定）
- 4 株主還元

配当政策について

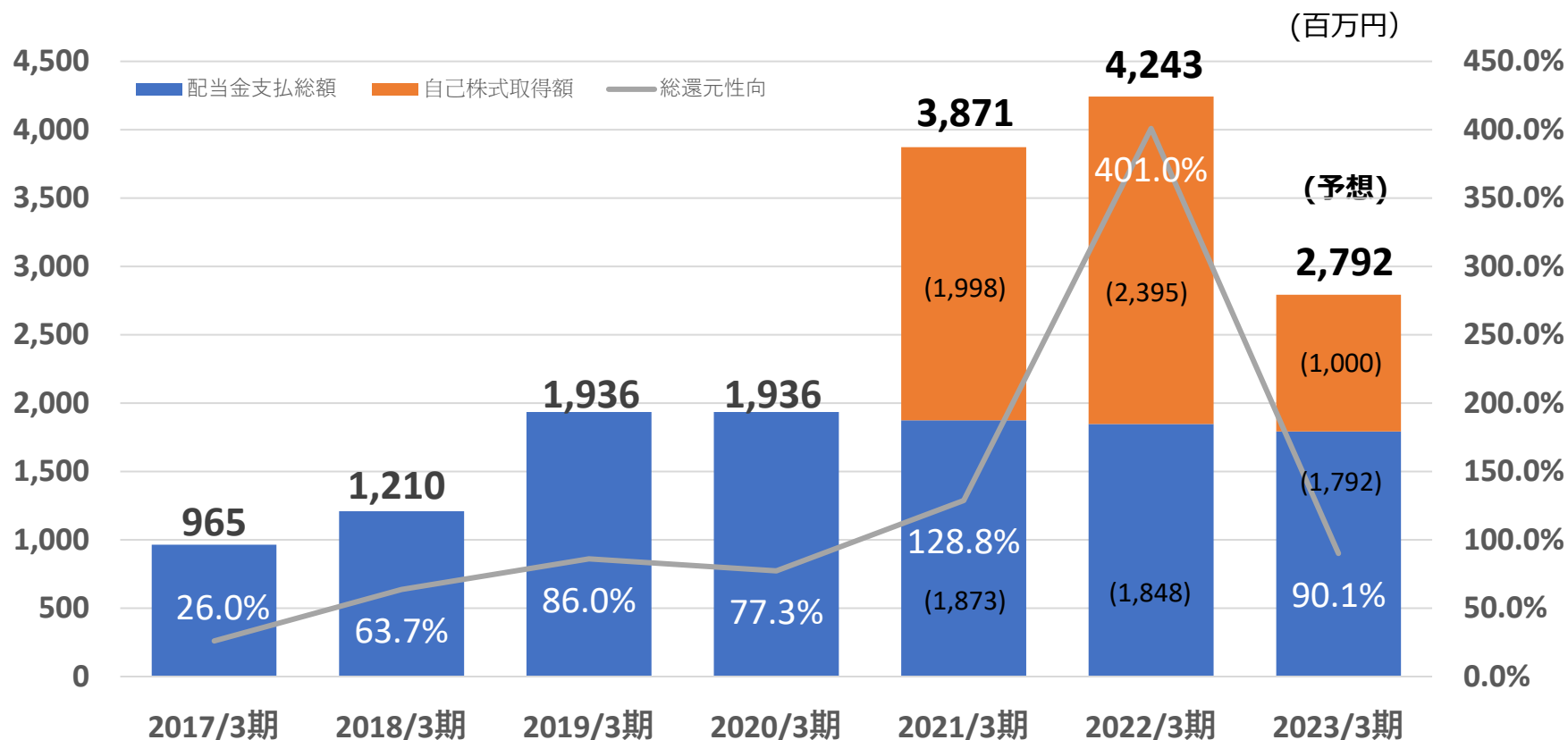
配当方針

連結株主資本配当率（DOE）2.5%以上を目標として、安定した配当を継続



DOE	1.4%	1.7%	2.7%	2.7%	2.6%	2.7%	2.6%
-----	------	------	------	------	------	------	------

総還元性向について



○株主還元策として、安定配当に加え、自己株式取得も実施中。
自己株式取得の長期目標100億円に対し、直近3期合計で約54億円を取得。

- 対象となる株主様 毎年3月31日現在の当社株主名簿に記録された、100株以上ご所有の株主様
- 優待内容 一律1,000円相当の当社オリジナル「クオ・カード」の進呈（年1回）
- 贈呈時期 当社定時株主総会終了後の6月下旬発送



- 1株当たり年間配当額 82円（2023年3月期予想）
- 株価 2,269円（2023年3月16日 東京証券取引所終値）

配当利回り 3.61%

株価	株式数	投資金額	配当金(年間)
2,269円	100株	226,900円	8,200円
	300株	680,700円	24,600円
	500株	1,134,500円	41,000円

本資料に係る免責事項

本資料は、資料作成時点において当社が入手している情報に基づき策定しており、当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に掲載されている将来展望と異なる場合がございます。

また当社に関する情報の提供を目的とするものであり、当社株式への投資を勧誘するものではありません。

万一この情報に基づいて被ったいかなる損害につきましても当社は一切責任を負わないことをご承知おきください。

【お問い合わせ先】

天馬株式会社 総務部

TEL：03-3598-5511

HPアドレス：<https://www.tenmacorp.co.jp/>